

「明舞団地リノベーションモデル企画」に関する提案書

提案者	株式会社メゾンデル 藤川 文
-----	----------------

希望部屋番号	406 号室
--------	--------

（注）文章を補完するための最小限の写真、イラスト、イメージ図、平面図（簡易なプランは可とします）は使用してもかまいませんが、模型（写真を含む）等での表現は不可とします。  
 文章の文字の大きさは設問文の文字の大きさ程度とし、小さくなりすぎないように配慮してください。

1 昭和40年代に建築された既存住戸の改修ということを踏まえて、コンセプト及び間取り、設備、内装仕様等のリノベーション内容について提案すること。

公的介護保険と人生80年いきいき住宅助成事業を活用した高齢者向けリノベーション改修  
 要介護（要支援）者および次世代を生きる人々も快適に暮らす工夫

◆主な提案内容及び改修点に関して下欄に列記してください。  
 （例：トイレ⇒全面取替え、キッチン壁⇒塗り替え、キッチン⇒既存のものを使用など）

【利用者の概要】

明舞 好子さん76歳。  
 ・昭和44年（30歳）より現住所に夫と2人の娘の4人で居住していたが2人の娘は嫁ぎ、夫は一昨年に他界した為、現在は1人暮らしである。  
 ・4～5年前から膝に痛みがあり整形外科にて受診したところ変形性膝関節症と診断される。その際、病院の医療ソーシャルワーカーからの勧めで要介護認定の申請をした結果「要支援2」の通知が届いた。  
 ・日常生活において起居、移動ともに自立だが、物的支持物は必要である。  
 ・杖や歩行器を用いての移動は可能だが、体調不良時は介助を要する状態である。

【家屋の状況】

・自宅は、エレベーターのない鉄筋コンクリート造4階建ての最上階にある。  
 ・周辺道路には急坂等はない。  
 ・室内は日当たりが良く、風通しも良い。  
 ・浴室入口に大きな段差があり浴槽は狭く深く手摺も無い。  
 ・便座が低く、手摺が無いため立ち座りが困難である。  
 ・和室と洋室の間に小さな段差がある。

【本人の希望】

・4階までの階段の上がり降りは辛い、長年暮らした我が家でこれからも暮らしたい。

【担当ケアマネージャーの提案】

・安全、快適な自宅での生活が続けられるように、訪問介護の利用と住宅改修による住環境改善が必要です。

浴室



狭い・深い浴槽から



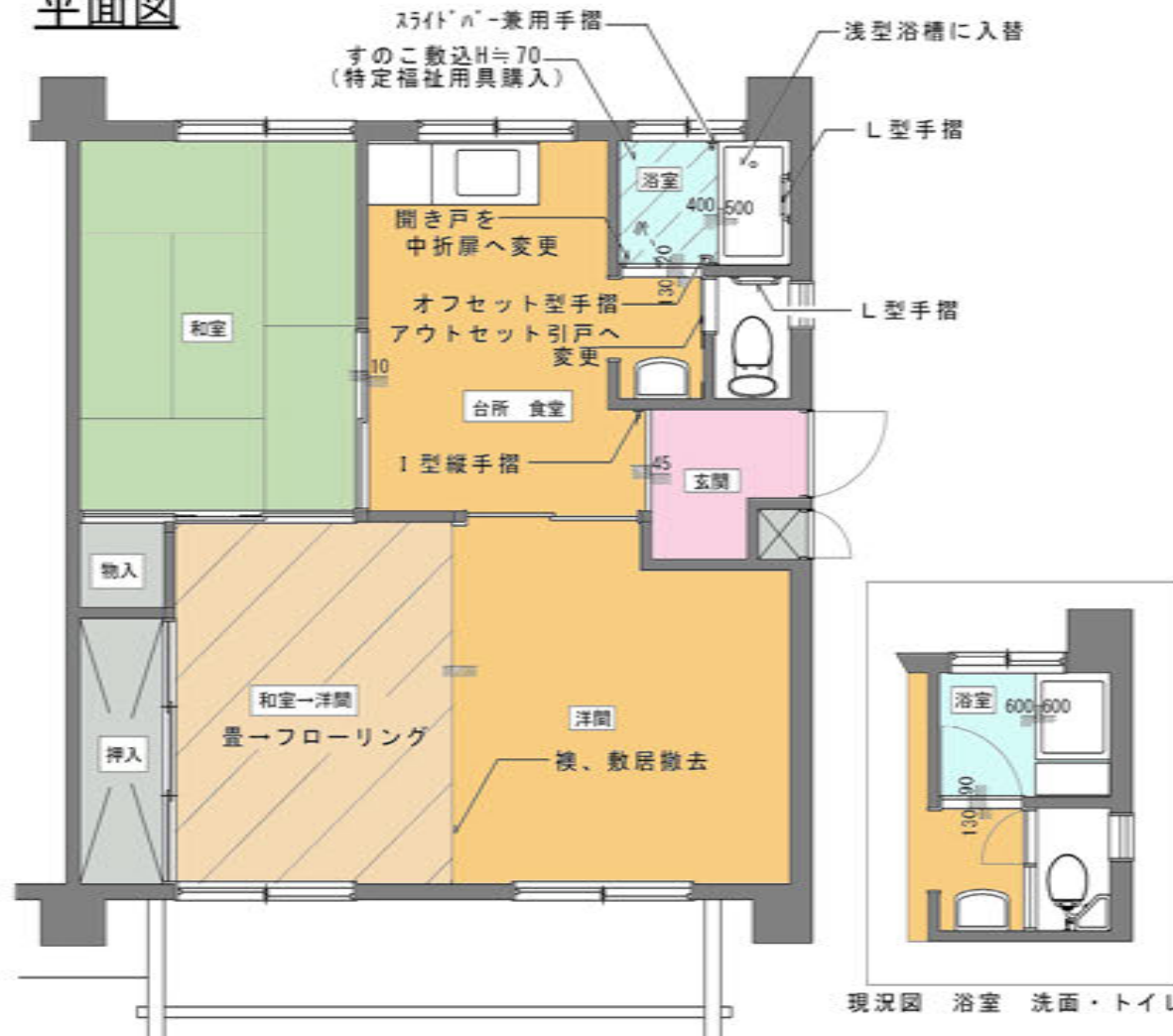
広い・浅い浴槽へ

浴室



開き戸から中折扉へ

平面図



トイレ



ドア本体をそのまま利用して、引戸に改造

和室から洋室へ

安全で快適な「すべりにくい」表面

床材の材質や厚さ、ペットなど、ご自身の歩行スタイル・歩行時に考慮して、表面に摩擦係数が高い素材を採用しました。

※一般的な床材とすべり係数のC.S.R.

製品名	すべる	C.S.R.	すべりにくい
ルーモニアスライ112E	0.3	0.4	0.5
一般建築床			



【浴室】

・既存浴槽は狭く、跨ぎが高く深い為、出入りが困難である。  
 ・手摺が無いので入浴時に転倒の危険性がある。  
 ・出入り口扉が内開きの為開閉動作が大きくなり転倒の危険性がある。万一洗い場で倒れた場合は扉が開かない。

↓  
 ・ワイドで浅型の浴槽へ取替  
 ・移動、立ち上がり、体位保持用手摺の設置  
 ・中折れ扉への変更

【トイレ】

・出入り口扉は外開きの為開閉時に動作が不安定になり転倒の危険性が高い。  
 ・トイレ内に手摺が無いので立ち座り動作が不安定である。

↓  
 ・出入り口扉を引戸に変更する  
 ・立ち上がり用の手摺を設置

【居室】

・洋室と和室（畳敷き）の間に小さな段差（10mm）があり又、畳は滑りやすい為転倒する危険性が高い。

↓  
 ・洋室との段差を解消し、畳を滑りにくいフローリングへ変更

【玄関】

・靴の脱ぎ履きの際、手摺が無く転倒の危険性が高い

↓  
 ・体位保持用の手摺を設置

【特定福祉用具】

・入浴補助用具の活用  
 浴室内すのこ・入浴用いす  
 ・腰掛便座  
 補高便座